（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

2021年7月1日※1
（前回公表年月日：令和2年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健専門学校	平成14年4月1日	古谷野 潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7－30 （電話）092-262-2119
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03－5878－3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	医療事務ビジネス科 診療情報管理士コース	平成25年文部科学省告示第3号	―

学科の目的	総合病院等で不可欠な診療情報管理士の資格取得を目指すと共に、専門的なコンピュータ技能の習得により、目まぐるしく変化する情報社会に柔軟に対応できる診療情報管理士として、病院のマネジメント業務やチーム医療に貢献できる人材を養成する
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 時間	1,260 時間	900 時間	240 時間	0 時間	0 時間

単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	7人	0人	2人	26人	28人

学期制度	■前期：4月13日～9月11日 ■後期：9月25日～2月13日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■学年始：4月1日～4月12日 ■夏　季：7月24日～8月19日 ■冬　季：12月26日～1月8日 ■学年末：2月19日～3月31日	卒業・進級条件	1．進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。2．2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会③学園祭実行委員会④体育大会実行委員会 その他 ■サークル活動：　有

就職等の状況※2

■主な就職先、業界等（令和2年度卒業生）

■就職指導内容
就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っ

■卒業者数	6	人
■就職希望者数	0	人
■就職者数	0	人
■就職率	0	%
■卒業者に占める就職者の割合	0	%

■その他
当該年度の診療情報管理士コースの卒業生はいない。※診療情報管理士コースは卒業後、全員、研究科に進学する為、就職対象者はいない。

令和２年度卒業者に関する
令和3年6月1日 時点の情報）

主な学修成果（資格・検定等）※3

■国家資格・検定/その他・民間検定等
（平成30年度卒業者に関する2021年6月1日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
医事コンピュータ2級	③	7人	3人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状	■中途退学者　0　名　■中退率　0 % 令和２年4月1日時点において、在学者１４名（令和２年４月１日入学者を含む） 令和３年3月31日時点において、在学者１４名（令和３年３月３１日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 対象者 無 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の歯科クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無し、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/

（留意事項）

1．公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2．就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（間違分野）」は、「学校基本調査」における「間違分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、間違分野へのアルバイト者数や進

3．主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。（以下図により、編成意思決定の過程を示す）

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2021年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
宮崎　弘之	日本チェーンドラッグストア協会	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	①業界団体
中西　祐介	(株)サンドラッグ	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	③企業
黒野　伸子	一般社団法人　日本レセプト学会	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	①業界団体
岩橋　克記	九州医療センター	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	③企業
古谷野　潔	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	学校長
生出　貴也	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	事務局長
河口　青児	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	教務部長
有村　貴利	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	学科長
松原　敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	教務事務部長

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年6月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催予定日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

（開催日時）

第1回　2020年6月19日　15:00～16:30

第2回　2021年1月22日　13:00～15:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
付加価値のあるサービスが医療現場で求められており学校教育の質を上げることができないかとの指摘があり、その対応として、アシスタントホスピタリティコーディネータの資格取得を目的にホスピタリティ理論・実践の科目を取り入れた。また、全般的に新卒のレベルが低下しており在学中の実践力強化を求められたので、これに対処する為、病院シミュレーション科目において、パソコンを新規に6台購入すると共に、少人数体制の教育をおこなうことにより一人ひとりの実践力を向上させるシラバスに変更した。また、診療報酬や医療改定を考慮して、将来を見据えた教育の必要性の意見を頂いたので、浜松医科大学付属病院医療福祉センターの医師による「地域医療構想と変化する病院」をテーマに特別講義をして頂いた。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
医療情報	医療情報システムの理解と基礎技術を習得する	高木情報産業(株)
サービス接遇	コミュニケーションを図るうえで重要になる接客・接遇に関する基礎知識を学ぶ	セレーノ・コーポレーション
コミュニケーション学Ⅱ	コミュニケーション能力を高めるため、スピーチ力、ディスカッションについて実戦形式で学ぶ	セレーノ・コーポレーション
病院実習	病院で実習を行うことで、学習した技術・知識を実践で確認し、その後の学習に生かしていく	久恒病院　天草慈恵病院　津島病院

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・令和2年4月25日　7月25日　医療事務実務者勉強会　主催:福岡県糟屋筑豊勉強会　参加者:医療事務ビジネス科専任教員　医療事務・診療情報管理士業務の現状と課題及び医療事務ビジネス科の主な就職先である病院・調剤薬局の最新の現状と課題、業界の変化等を学び、「医療秘書実務」「総合学習」「医療マネジメント」「病院管理」「実習指導」等の授業に活用した。

②指導力の修得・向上のための研修等

・令和2年6月25日　診療情報管理士教育分科会　主催:一般社団法人滋慶教育科学研究所　参加者:医療事務ビジネス科専任教員　診療情報管理士資格取得指導に係る成功事例や最新情報を学び、「検定対策」「診療報酬請求事務」などの授業に活用した。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

令和4年度廃科予定の為、実施予定なし

②指導力の修得・向上のための研修等

令和4年度廃科予定の為、実施予定なし

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

医療従事者として、守秘義務を始め法令順守に係る教育の強化が必要である旨の指摘を頂いた。対策として、IT・リテラシー講習及び理解度テストを実施すると共に、HR授業において、定期的・継続的にコンプライアンスの周知徹底を図った。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、実施可能なものはすぐに実施すると共に、活用に向けた検討・環境整備を計画的に図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿(2021年4月1日現在)

名　前	所　　属	任期	種別
谷口　貴隆	スポーツ科学科卒業生	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	卒業生
松枝　嘉子	理学療法科　在校生保護者	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	保護者
戎﨑　淳一	博多区大浜公民館	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	地域
矢ケ崎　裕和	福岡県立香椎高等学校	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	高等学校
村田　栄治	村田整骨院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(柔道整復)
要　信義	要鍼灸院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(鍼灸)
西村　拓巨	株式会社　ライコ	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	(スポーツ)
岩橋　克記	独立行政法人国立病院機構 九州医療センターかん登録センター	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(医療事務)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(理学療法)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(作業療法)
恒吉　俊美	医療法人三井会　神代病院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(救急救命)
案西　浩平	医療法人桜香　あんざい歯科クリニック	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(歯科衛生士)
中西　祐介	(株)サンドラッグ	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(薬業)
相川　直美	福岡県済生会　八幡総合病院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(看護)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　2021年7月15日　(前回令和2年10月20日)

(ホームページ)　・　広報誌等の刊行物　・　その他(　　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

授業科目等の概要

（商業実務専門課程　医療事務ビジネス科診療情報管理士コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報処理	Windowsの基本操作の習得とWordでの文章・作図、Excelでの表計算、パワーポイントでのプレゼンテーション資料作成などを習得する。	1通2通	120	8		○		○			○	
○			医療情報	医療情報システムの理解と基礎技術を習得する。	1通	60	4		○		○			○	○
○			英会話	グローバルな感性を養うと共に、国際化に対応できる日常英会話の勉強である病院での実践英会話や医療用語について学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			医療マネジメント	マネジメントの基礎を学び、病院及び組織で求められる知識を習得する。	2通	60	4	○			○		○		
○			カウンセリング概論	自己との対話や様々な感覚、覚醒の練習を通して、豊かな人間形成を図り、それをベースに日常のコミュニケーションを作り出す能力を養う。	1通	60	4	○			○			○	
○			カウンセリング演習	エンカウンターグループを用いてのカウンセラーの自己理解促進、応用としてのカウンセリングを中心とし、面接技法の体験、ケース記録の記入等について学ぶ。	2通	60	4		○		○			○	
○			心理学	対人援助職として必要なコミュニケーションを専門的に学ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
○			秘書実務Ⅰ	一般企業の社長や重役の秘書としての役割や、お客様への対応を習得する。秘書検定３級合格を目指し学習する。	1後	30	2	○			○			○	
○			サービス接遇	コミュニケーションを図る上で重要になる接客・接遇に関する基礎知識を学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	○
○			医療秘書実務	医師の秘書としての役割や、病院での患者様への対応を学ぶ。さらに病院実習のために、ロールプレイによる学習を行う。	1通	60	4		○		○			○	
○			医事シミュレーション	病院の窓口業務を実践形式で学ぶ。	1通	60	4		○		○			○	
○			ホスピタリティー	患者様に対する接遇マナーを習得する。患者様に対して、その場に応じたコミュニケーションの取り方を実践を通して学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	

○			コミュニケーション学Ⅰ	対面会話、敬語など、情報の伝え方について実践形式で学ぶ。	1後2前	60	4		○		○			○	
	○		コミュニケーション学Ⅱ	コミュニケーション能力を高めるため、スピーチ力・ディスカッションについて実践形式で学ぶ。	2通	60	4		○		○			○	○
○			社会保障	医療費の社会保障関係の法律について学ぶ。さらに医療保障の歴史・種類などについて学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			病院管理	病院の仕組みと各部門の役割から、医療の概念と理論を学び、医療人としての心構えを身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			医療関連法規	医療に関する法律や、健康保険について学ぶ。また薬務法規、公費負担医療の基礎知識等の理解を深める。	1前	30	2	○			○			○	
○			医学用語	英語表記される医学用語の根源、略語等について学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			基礎医学	人間の骨格や筋肉など解剖生理の基礎知識を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			臨床医学	医療機関で扱う、内科・外科などの主な病気とその治療法について学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	
○			総合医療	薬理・看護・代替・補完医療等、医療を取りまく医療知識を総合的に学ぶ。	2通	90	6	○			○			○	
○			臨床検査学	臨床における検査の役割とその結果による疾患との関係について学ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
○			診療報酬請求事務（基礎編）	病院事務職の知識として必須である診療報酬請求事務の基礎を学ぶ。外来会計・入院会計を検定資格取得を目指し学習する。	1通	180	12		○		○			○	
○			診療報酬請求事務（応用編）	診療報酬請求事務の基礎知識をもとに、病院で実際に必要となる技能を習得する。	2通	360	24		○		○			○	
	○		医事コンピュータ	医療機関で使用されているコンピュータを使用し、保険請求の一連の流れを理解し、オペレーター業務を習得する。	1通	60	4		○		○			○	
	○		総合学習	業界より求められている医療事務全般に関わる専門知識を総合的に学ぶ。	1通2通	240	16	○			○		○		
○			検定対策講座	検定合格を目指し、各検定に合わせた検定対策学習を行う。	1通2通	240	16	○			○			○	

○			実習指導	医療事務における実務実習について、現場での留意点や技術向上のための知識・技術を習得する。	1通	60	4	○			○		○		
○			就職指導	就職活動における留意点や一般教養を学ぶ。また、面接能力などを養う。	2通	60	4	○			○		○		
○			卒業研究	２年間学習したことや体得したことを、個人またはグループでテーマを設定し、発表する。	2通	60	4		○		○		○		
○			海外実学研修	海外のビジネスについて学習し、歴史や文化・伝統など国際的な感性を養う。	1後	120	4			○		○		○	
○			病院実習	病院で実習を行うことで、学習した知識・技術を実践で確認し、その後の学習に活かしていく。	1後	120	4			○		○		○	○
○			特別講義	特別講師による講義や業界の方による講義を実施し、専門性の高い知識を学ぶ。	随時	4回	1			○	○			○	
	○		ゼミ活動	業界で必要な知識をより深く理解するため、自らテーマを設定し活動する。	随時	4回	1			○	○			○	
合計				科目	単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程　医療事務ビジネス科　診療情報管理士コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		医療概論	医学概念を知り、医の倫理、医療制度、予防医学などについて理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
	○		人体構造・機能論	人体のしくみ、機能、働きについて理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1前	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学総論（外傷学・先天異常等）	外傷及び先天的異常により発症する疾患について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅰ（感染症及び寄生虫症）	感染症、寄生虫症における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅱ（新生物）	新生物の定義と悪性新生物における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）	血液、代謝、内分泌の障害における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1前	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅳ（精神・脳神経・感覚器等）	精神、脳神経、感覚器の疾患における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅴ（循環器・呼吸器系）	呼吸、循環器の疾患における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）	消化器、泌尿器の疾患における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅶ（周産期系）	妊娠、分娩、産褥における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	15	1	○			○			○	
	○		臨床医学各論Ⅷ（皮膚・筋骨格系）	皮膚、筋骨格系の疾患における症状、検査、治療方法等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	15	1	○			○			○	
	○		医学用語	英語表記される医学用語の語源、略語等について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	

	○		医療管理総論	医療資源、日本の医療制度、医療関連の法規程について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1前	15	1	○			○		○		
	○		医療管理各論Ⅰ（医療管理）	医療サービスの提供に係る組織・運営の実態について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1前	15	1	○			○		○		
	○		医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護制度）	病院の経営管理、医療管理、チーム医療について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
	○		医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	安全管理、医療の質管理、診療情報管理における診療報酬請求データの活用について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	15	1	○			○		○		
	○		健康医療情報学	医療情報の特徴と種類、行政が進める保健医療の情報化政策、医療情報システムについて理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
	○		医療統計学Ⅰ（統計理論）	統計的方法、データの要約、統計学的推測の基礎について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
	○		医療統計学Ⅱ（病院統計・疾病統計）	病院の統計資料、臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	15	1	○			○		○		
	○		診療情報管理論Ⅰ（法令・書規則）	診療情報管理の意義と役割、診療情報の歴史、診療情報管理と法規について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	15	1	○			○		○		
	○		診療情報管理論Ⅱ（診療情報管理士の実務）	実務及び、個人情報保護の視点からの保管管理、電子カルテ運用について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2前	30	2		○		○			○	
	○		診療情報管理論Ⅲ（DPC・医師事務作業補助者・がん登録）	ＤＰＣの制度と実務、医師事務作業補助者業務について、がん登録について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	30	2		○			○		○	○
	○		国際統計分類Ⅰ	国際疾病分類論、国際統計分類ファミリー論、国際疾病分類の利用について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	30	2		○			○		○	○
	○		国際統計分類Ⅱ	国際疾病分類の基本、国際疾病分類１ＣＤ編さんの基準とその特徴について理解し、正しく診療情報の管理ができるようになる。	2後	30	2		○		○			○	○
合計				58科目	2,970単位時間（　198単位）												

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

2021年7月1日※1
（前回公表年月日：令和2年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健専門学校	平成14年4月1日	古谷野 潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7－30 （電話）092-262-2119
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03－5878－3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	医療事務ビジネス科 保育士・幼稚園教諭コース	平成25年文部科学省告示第3号	―

学科の目的	医療事務としての事務処理能力の習得に加え、保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事任用の資格を取得し、総合病院や小児科、産婦人科、小児歯科で子供医療の専門家として活躍する人材を育成する
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 時間	1,260 時間	900 時間	240時間	0 時間	0 時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	1人	0人	2人	26人	28人

学期制度	■前期：4月13日～9月11日 ■後期：9月25日～2月13日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■学年始：4月1日～4月12日 ■夏　季：7月24日～8月19日 ■冬　季：12月25日～1月8日 ■学年末：2月19日～3月31日	卒業・進級条件	1. 進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。2. 2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会　②ボランティア実行委員会③学園祭実行委員会④体育大会実行委員会　その他 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和2年度卒業生） 当該コースは卒業後全員研究科へ進学する。 ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っ ■卒業者数：5人 ■就職希望者数：0人 ■就職者数：0人 ■就職率：0% ■卒業者に占める就職者の割合：0% ■その他 保育コースの卒業生は、卒業後、全員、研究科へ進学する為、就職対象者はいない 令和2年度卒業者に関する 令和3年6月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （平成30年度卒業者に関する2021年8月1日時点の情報） 資格・検定名：医事コンピュータ2級／種：③／受験者数：3人／合格者数：2人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状	■中途退学者　1名　■中退率　11.1 % 令和2年4月1日時点において、在学者9名（令和2年4月1日入学者を含む） 令和3年3月31日時点において、在学者8名（令和3年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 ①進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の歯医会クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（納金科・手数料等無、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。（以下図により、編成意思決定の過程を示す）

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2021年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
宮崎　弘之	日本チェーンドラッグストア協会	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	①業界団体
中西　祐介	(株)サンドラッグ	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	③企業
黒野　伸子	一般社団法人　日本レセプト学会	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	①業界団体
岩橋　克記	九州医療センター	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	③企業
古谷野　潔	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	学校長
生出　貴也	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	事務局長
河口　貴児	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	教務部長
有村　貴利	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	学科長
松原　敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	教務事務部長

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年6月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催予定日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

（開催日時）

第1回　2020年6月19日　15:00～16:30

第2回　2021年1月22日　13:00～15:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
付加価値のあるサービスが医療現場で求められており学校教育の質を上げることができないかとの指摘があり、その対応として、アシスタントホスピタリティコーディネータの資格取得を目的にホスピタリティ理論・実践の科目を取り入れた。また、全般的に新卒のレベルが低下しており在学中の実践力強化を求められたので、これに対処する為、病院シミュレーション科目において、パソコンを新規に6台購入すると共に、少人数体制の教育をおこなうことにより一人ひとりの実践力を向上させるシラバスに変更した。また、診療報酬や医療改定を考慮して、将来を見据えた教育の必要性の意見を頂いたので、浜松医科大学付属病院医療福祉センターの医師による「地域医療構想と変化する病院」をテーマに特別講義をして頂いた。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
医療情報	医療情報システムの理解と基礎技術を習得する	高木情報産業(株)
サービス接遇	コミュニケーションを図るうえで重要になる接客・接遇に関する基礎知識を学ぶ	セレーノ・コーポレーション
コミュニケーション学Ⅱ	コミュニケーション能力を高めるため、スピーチカ、ディスカッションについて実戦形式で学ぶ	セレーノ・コーポレーション
保育実習Ⅰ	保育所・児童福祉施設の役割や機能を理解し、既習の教科の内容を踏まえ、現場実習を行う	豊福保育園　小宮地保育園　あさひ保育園
教育実習Ⅰ	幼稚園の役割や機能を理解し、既習の教科の内容を踏まえ、現場実習を行う	福岡名島幼稚園　天照幼稚園　正進幼稚園　のぎく幼稚園　筥松幼稚園　他2施設　合計7施設

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・令和2年4月25日　7月25日　医療事務実務者勉強会　主催:福岡県糟屋筑豊勉強会　参加者:医療事務ビジネス科専任教員　医療事務・診療情報管理士業務の現状と課題及び医療事務ビジネス科の主な就職先である病院・調剤薬局の最新の現状と課題、業界の変化等を学び、「医療秘書実務」「総合学習」「医療マネジメント」「病院管理」「実習指導」等の授業に活用した。

②指導力の修得・向上のための研修等

・令和2年6月25日　医療秘書教育分科会　主催:一般社団法人滋慶教育科学研究所　参加者:医療事務ビジネス科専任教員　医療事務資格取得指導に係る成功事例や最新情報を学び、「検定対策」などの授業に活用した。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

令和4年度廃科予定の為、実施予定なし

②指導力の修得・向上のための研修等

令和4年度廃科予定の為、実施予定なし

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

医療従事者として、守秘義務を始め法令順守に係る教育の強化が必要である旨の指摘を頂いた。対策として、IT・リテラシー講習及び理解度テストを実施すると共に、HR授業において、定期的・継続的にコンプライアンスの周知徹底を図った。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、実施可能なものはすぐに実施すると共に、活用に向けた検討・環境整備を計画的に図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿(2021年4月1日現在)

名　前	所　属	任期	種別
谷口　貴陸	スポーツ科学科卒業生	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	卒業生
松枝　嘉子	理学療法科　在校生保護者	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	保護者
戎崎　淳一	博多区大浜公民館	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	地域
矢ケ崎　裕和	福岡県立香椎高等学校	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	高等学校
村田　栄治	村田整骨院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(柔道整復)
要　信義	要鍼灸院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(鍼灸)
西村　拓巨	株式会社　ライコ	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	(スポーツ)
岩橋　克記	独立行政法人国立病院機構 九州医療センターかん登録センター	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(医療事務)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(理学療法)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(作業療法)
恒吉　俊美	医療法人三井会　神代病院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(救急救命)
薬西　浩平	医療法人桜香　あんざい歯科クリニック	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(歯科衛生士)
中西　祐介	(株)サンドラッグ	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(薬業)
相川　直美	福岡県済生会　八幡総合病院	2021年4月1日～2022月年3月31日(1年)	企業(看護)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　2021年7月15日　(前回令和2年10月20日)

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

授業科目等の概要

（商業実務専門課程　医療事務ビジネス科保育士幼稚園教諭コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報処理	Windowsの基本操作の習得とWordでの文章・作図、Excelでの表計算、パワーポイントでのプレゼンテーション資料作成などを習得する。	1通2通	120	8		○		○			○	
○			医療情報	医療情報システムの理解と基礎技術を習得する。	1通	60	4		○		○			○	○
○			英会話	グローバルな感性を養うと共に、国際化に対応できる日常英会話の勉強である病院での実践英会話や医療用語について学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			医療マネジメント	マネジメントの基礎を学び、病院及び組織で求められる知識を習得する。	2通	60	4	○			○		○		
○			カウンセリング概論	自己との対話や様々な感覚、覚醒の練習を通して、豊かな人間形成を図り、それをベースに日常のコミュニケーションを作り出す能力を養う。	1通	60	4	○			○			○	
○			カウンセリング演習	エンカウンターグループを用いてのカウンセラーの自己理解促進、応用としてのカウンセリングを中心とし、面接技法の体験、ケース記録の記入等について学ぶ。	2通	60	4		○		○			○	
○			心理学	対人援助職として必要なコミュニケーションを専門的に学ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
○			秘書実務Ⅰ	一般企業の社長や重役の秘書としての役割や、お客様への対応を習得する。秘書検定３級合格を目指し学習する。	1後	30	2	○			○			○	
○			サービス接遇	コミュニケーションを図る上で重要になる接客・接遇に関する基礎知識を学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	○
○			医療秘書実務	医師の秘書としての役割や、病院での患者様への対応を学ぶ。さらに病院実習のために、ロールプレイによる学習を行う。	1通	60	4		○		○			○	
○			医事シミュレーション	病院の窓口業務を実践形式で学ぶ。	1通	60	4		○		○			○	
○			ホスピタリティー	患者様に対する接遇マナーを習得する。患者様に対して、その場に応じたコミュニケーションの取り方を実践を通して学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	

○			コミュニケーション学Ⅰ	対面会話、敬語など、情報の伝え方について実践形式で学ぶ。	1後2前	60	4		○		○			○	
	○		コミュニケーション学Ⅱ	コミュニケーション能力を高めるため、スピーチカ・ディスカッションについて実践形式で学ぶ。	2通	60	4		○		○			○	○
○			社会保障	医療費の社会保障関係の法律について学ぶ。さらに医療保障の歴史・種類などについて学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			病院管理	病院の仕組みと各部門の役割から、医療の概念と理論を学び、医療人としての心構えを身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			医療関連法規	医療に関する法律や、健康保険について学ぶ。また薬務法規、公費負担医療の基礎知識等の理解を深める。	1前	30	2	○			○			○	
○			医学用語	英語表記される医学用語の根源、略語等について学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			基礎医学	人間の骨格や筋肉など解剖生理の基礎知識を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			臨床医学	医療機関で扱う、内科・外科などの主な病気とその治療法について学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	
○			総合医療	薬理・看護・代替・補完医療等、医療を取りまく医療知識を総合的に学ぶ。	2通	90	6	○			○			○	
○			臨床検査学	臨床における検査の役割とその結果による疾患との関係について学ぶ。	2後	30	2	○			○			○	
○			診療報酬請求事務（基礎編）	病院事務職の知識として必須である診療報酬請求事務の基礎を学ぶ。外来会計・入院会計を検定資格取得を目指し学習する。	1通	180	12		○		○			○	
○			診療報酬請求事務（応用編）	診療報酬請求事務の基礎知識をもとに、病院で実際に必要となる技能を習得する。	2通	360	24		○		○			○	
	○		医事コンピュータ	医療機関で使用されているコンピュータを使用し、保険請求の一連の流れを理解し、オペレーター業務を習得する。	1通	60	4		○		○			○	
	○		総合学習	業界より求められている医療事務全般に関わる専門知識を総合的に学ぶ。	1通2通	240	16	○			○		○		
○			検定対策講座	検定合格を目指し、各検定に合わせた検定対策学習を行う。	1通2通	240	16	○			○			○	

○			実習指導	医療事務における実務実習について、現場での留意点や技術向上のための知識・技術を習得する。	1通	60	4	○			○		○		
○			就職指導	就職活動における留意点や一般教養を学ぶ。また、面接能力などを養う。	2通	60	4	○			○		○		
○			卒業研究	２年間学習したことや体得したことを、個人またはグループでテーマを設定し、発表する。	2通	60	4		○		○		○		
○			海外実学研修	海外のビジネスについて学習し、歴史や文化・伝統など国際的な感性を養う。	1後	120	4			○		○		○	
○			病院実習	病院で実習を行うことで、学習した知識・技術を実践で確認し、その後の学習に活かしていく。	1後	120	4			○		○		○	○
○			特別講義	特別講師による講義や業界の方による講義を実施し、専門性の高い知識を学ぶ。	随時	4回	1			○	○			○	
	○		ゼミ活動	業界で必要な知識をより深く理解するため、自らテーマを設定し活動する。	随時	4回	1			○	○			○	
合計				科目	単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程　医療事務ビジネス科　保育士幼稚園教諭コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			健康科学	健康維持や体力向上に対するスポーツ活動のもつ教育的意義について捉えることができるようになる。	1前	15	1	○			○			○	
○			保育原理	保育内容がどのように変化してきたのかを歴史と共に学び、これからの新しい保育を考えていく上での基礎を捉えることができるようになる。	2前	30	2	○			○			○	
○			教育原理	教育に関する教育行政との関係を通し、基本的な概念と体系的な知識を習得できるようになる。	1後	30	2	○			○			○	
○			子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について捉えることができるようになる。	2前	30	2	○			○			○	
○			社会福祉	社会福祉の概要や、良き児童福祉実践者として必要な「社会福祉」の全般に関する基礎を捉えることができるようになる。	2後	30	2	○			○			○	
○			子ども家庭支援論	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解し、保育の専門性を活かした子育て家庭に対する支援の体制について捉えることができるようになる。	2後	30	2	○			○			○	
○			社会的養護Ⅰ	児童福祉施設入所児童に対し、社会的養護の基本的なあり方を考え、指導援助の理論と実際を捉えることできるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			教職概論	教師に何が求められているかを考え、教育という仕事を遂行していくための能力を習得できるようになる。	2前	30	2	○			○			○	
○			教育課程総論	教育課程の目的や意義を理解し、教育課程の編成及び指導計画の作成に対する理解を習得できるようになる。	1後	30	2	○			○			○	
○			造形表現（指導法）	幼児期に豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするねらいのもと、幼児の造形表現を中心に捉えることができるようになる。	2前	15	1		○		○			○	
○			幼児と言葉	児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）について、基礎的な知識を身に付けることができるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
○			幼児への特別な支援	特別の支援を必要とする幼児の心身の発達と心理的特性および学習の過程を捉えることができるようになる。	2後	15	1	○			○		○		

○			幼児体育Ⅱ	運動発達の順次性を理解し、運動遊びを素材とした短期の指導計画を作成することができるようになる。	2後	15	1		○		○			○	
○			幼児と人間関係	幼児を取り巻く人間関係の現状を把握し、支援が必要なポイントを捉えることができるようになる。	1前	15	1	○			○			○	
○			幼児の心理学	人間の行動を理解し、それが教育の中でいかに活きているかを発達・学習・知覚・人格の観点から捉えることができるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
○			教育方法論	乳幼児期の教育現場（保育所・幼稚園・認定こども園）の基本原理を習得し、現場における教育の方法を捉えることができるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			教育相談	カウンセリングの基礎知識を学び、子どもや家族への支援スキルの基礎を習得できるようになる。	2前	30	2	○			○			○	
○			英会話Ⅰ	グローバルな感性を養うと共に、国際化に対応できる日常英会話を習得できるようになる。	2後	30	2	○			○			○	
○			情報処理入門Ⅰ	Word・Excel・PowerPointのオフィススイートの基本操作を習得できるようになる。	1前	15	1		○		○			○	
○			生涯スポーツ	高齢者、障がい者をも含めた各種スポーツの技能の向上と、それに関わるスポーツ発展史について捉えることができるようになる。	1後	15	1		○		○		○		
○			教育心理学	人間の行動を理解し、それが教育の中でいかに活きているかを発達・学習・知覚・人格の観点から捉えることができるようになる。	1前	15	1		○		○			○	
○			保育内容総論	保育所保育指針における「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」を理解し、保育の全体的構造についてて捉えることができるようになる。	1後	15	1		○		○			○	
○			健康（指導法）	子どもの発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境について捉え、領域「健康」の内容及び意義について習得できるようになる。	1前	15	1		○		○			○	
○			人間関係（指導法）	子どもの人間関係の形成をめぐる諸問題について理解を深め、領域「人間関係」の内容及び意義について習得できるようになる。	1後	15	1		○		○			○	
○			言葉（指導法）	子供の発達に応じた、保育者としての言葉の働きかけの重要性について学び、領域「言葉」の内容及び意義について習得できるようになる。	2前	15	1		○		○			○	
○			造形表現（指導法）	幼児期に豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするねらいのもと、幼児の造形表現理解を深め、表現方法の基礎知識と実践的な指導を習得できるようになる。	2前	15	1		○		○			○	
○			幼児と音楽表現	器楽（ピアノ伴奏、楽器演奏）の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指すことができるようになる。	1後	15	1		○		○			○	

○			幼児と健康	各種の運動あそびを素材とした短期の指導計画を作成することができようになる。	2後	15	1		○		○			○	
○			障害児保育	子どもの心身の発達についての理解を深め、それを基盤にして子どもの知的・身体的障害について捉えることができるようになる。	2後	15	1		○		○		○		
○			音楽表現（指導法）	幼児期に豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするねらいのもと、幼児教育における音楽表現の基礎知識を習得できるようになる。	2前	15	1		○		○			○	
○			劇あそび（指導法）	幼児期に豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするねらいのもと、幼児教育における身体運動表現の基礎知識を習得できるようになる。	2後	15	1		○		○			○	
○			言語表現	表現活動における知識・技術を習得し、遊びを通して子どもが積極的に児童文化財を経験できる方法を捉えることができるようになる。	2前	15	1		○		○		○		
○			保育実習事前事後指導Ⅰ（保育所）	保育所実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、指導案の作成や実習日誌の書き方等に関わる知識と技術を習得できるようになる。	2前	15	1		○		○		○		
○			保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）	児童福祉施設実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、指導案の作成や実習日誌の書き方等に関わる知識と技術を習得できるようになる。	2後	15	1		○		○		○		
○			教育実習事前事後指導	幼稚園実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、指導案の作成や実習日誌の書き方等に関わる知識と技術を習得できるようになる。	2後	15	1		○		○			○	
		○	保育実習（基礎）	現場実習において保育所の役割や機能を理解し、子どもとの接し方・記録の取り方など保育実習の基礎を習得できるようになる。	1後	40	1			○		○		○	○
○			保育実習Ⅰ（保育所）	保育所の役割や機能を理解し、既習の教科の内容を踏まえ、保育の実践を通じて、保育の技術・能力を高めてくることができる。	2前	80	2			○		○		○	○
○			教育実習Ⅰ	幼稚園の役割や機能を理解し、既習の教科の内容を踏まえ、幼児教育の実践を通じて、幼児教育の技術・能力を高めてくることができる。	2後	80	2			○		○		○	○
	○		音楽Ⅰ	保育・教育の現場で必要な音楽理論・技術について学び、楽譜の読み方・弾き方などピアノの基礎的な技術を習得できるようになる。	1通	60	4		○					○	
	○		音楽Ⅱ	保育・教育の現場で必要な音楽理論・技術について学び、楽譜の読み方・弾き方などピアノの基礎的な技術を習得できるようになる。	2通	60	4		○					○	
	○		保育教材Ⅰ	保育・教育の現場で必要な音楽理論・技術について学び、ピアノの基礎的かつ弾き歌いなどの応用的技術まで習得できるようになる。	1前	30	2	○					○		
	○		保育実践事例	保育教材を作って演じることを通して保育者に必要な感性や表現力を習得できるようになる。	1後	30	2	○					○		

	○		保育実践事例Ⅱ	幼稚園・保育所における日々の保育の実践事例をもとに、保育の現場について考察・検討を行い、事例に対する様々な保育観を捉えることができるようになる。	2前	30	2	○					○		
					### 65											
合計					3,650単位時間(229 単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。